

保險株式會社徵兵保險、件ニ付別紙、通問合越
候処本件、貴省御所管、事項ト被存候間及
移送候ニ付可然御取計煩度候

大正八年十二月廿五日

事務官

事務官

事務官

事務官

要 二二八

古物賣却所、別紙件四居

本月古物賣却所、別紙件四居、
業ノ件、件清、出、
此、自、人、同、相、許、
合、於、部、法、中、法、人、要、
段、在、日、要、別、不、能、義、

大正八年十一月廿一日

三

法入但信 下元 大正八年十一月廿一日

八

四三

大正八年十一月廿一日

愛知縣知事宮尾舜治

内務省警務局長殿

古物商取締法ニ關スル件照會

近時合資若ハ株式組織ノ商事會社ニシテ

古物商營業ヲ行フモノモ其ノ數カ

ナルモ現行古物商取締法上ニ於テ法人

對シテ許可ヲ受ケル規定無之且又本營業

ハ業能心、性質上其ノ種人、人物如何

ヲ審査シ許可スルハキモノト被認隨テ法人

ノ如キハ屬ス其ノ代表者ヲ交代スル等

公安保持ノ必要アリ見ルニ許可シ得サル

ノト解釋スルハ安當ト思料セラル、若シ法
人ニ對シテ得ルトセバ取締法上ノ反則行為
ニ對スル処罰規定は無ク隨ニ負責者
ニ付疑義ヲ生スル次第モ有之條系
何分、御意見至急承知致度此段
及嘆念至也

大正八年十一月廿二日

十一月廿二日

警務局長
警務局長

尾道市警務局長
副長 河藤 豊次郎 署長
年月 日 内務省 宛

十一月十七日附屬官共ニ奉命致意ニ
當入金額等ノ調査御申出
朝鮮、臺灣、樺太、等ノ地方ニ於テ

於不致事得由伊之於今分在記之由也
 上之各系御了知初成上度主

記
 廣 庭 敷 廣 入 庭 款

大正二年系	二九、五九四	八八、一九五、五三〇
大正三年系	二九、三四五	八八、一九五、五三〇
大正四年系	二八、五五一	八三、二五五、八九五
大正五年系	二八、三四七	八二、九四一、〇五一
大正六年系	二八、三四六	八二、一三二、〇九八

内
8. 11. 20

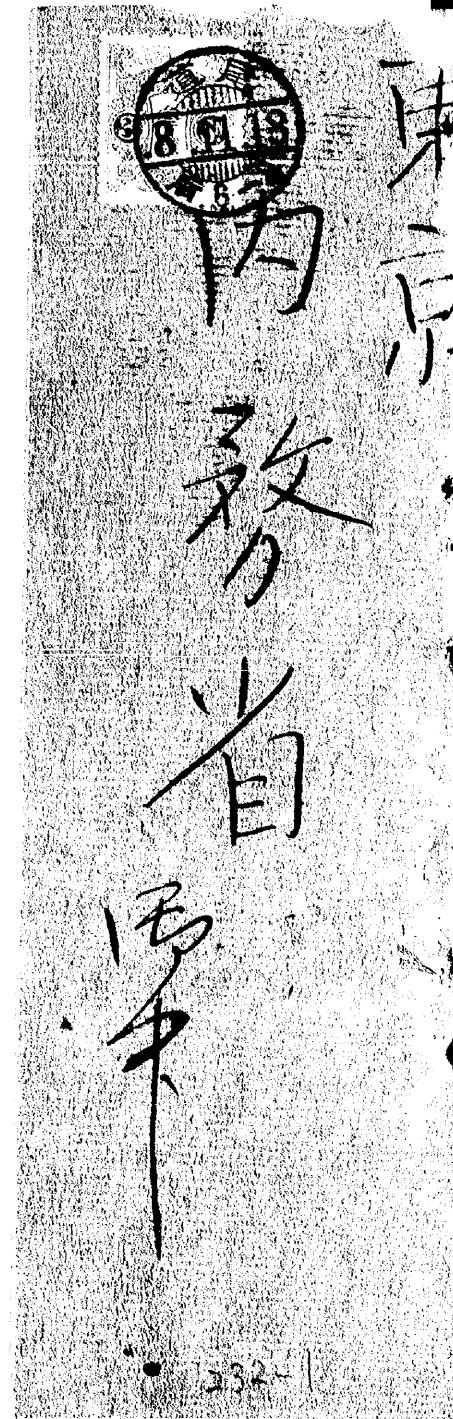
大正八年十一月十七日

尾道市
株式會社 第六十六銀行
副長 伊藤 豊

内務省 内中

本邦實業經營者協會
おとろく 内務省
有りし付き起事
心算 丸内 内務省

(内務省、官報、特許大別)
一、大正二年未以降
管全高表



在中物なし

232

尾道市久保町
第六十六銀行

大正八年十一月五日

警務課長
警保部長

在紐育エーレインビク
ニース編輯茂宛回答案

年月日
内務省
宛

持復
八月廿七日付御申越有之吏活勤寫真大鑑ニ掲載可相成事次中第一、左記通

三有之第二、當省所管ニ其ノニ付主管省ニ
大藏省ニ移牒致置主問御了知相成度矣

記

千九百十八年十二月末現在

活動寫真常設館

三六二

當設館ニ此ノニ臨時充用スルニ七、一三五

終

案ノ二

年月日

主 警 保 方 長

大藏省 廣税 部長宛

表 三七九

在紐育エーレシヨニピクテア、ニユース編輯長

別紙、由、當省宛申越、其、該書第二項
ハ要、易、所、主、管、官、ト、被、認、可、ト、付、可、能、御、可、計
相成度ニ付

肅啓

次回發行「活動写真大體」掲載致度

支分左記事項御通知被下度願ひ共

一、貴國現在ノ活動写真銀ノ数

二、活動写真フィルムニ對スル関稅

右至急御回答被下候得者幸甚之至ニ至矣

坂 具

モーレン・ピクチャー・ニュース

編輯長

内務省御中

大正八年十月十五日

警務課長

警保局長

伺

警署に鑑別所長官、警察調査部
補以下佐官、官制、但、有之、又、未
印刷、之、分、之、年、之、為、格、格、長官、之、送、身
法、可、能、也

送身案

年月日

局長

三三三

246

大正八年十月一日現在
內務省警保局

查

前年慶二比類

教習正查給

[illegible]

英政府、宣諭正則、於、條、廢、ル、ノ、ニ、シ、テ、其、他、之、違、査、給、與、金、改、正、後、増、額、
償、金、ハ、之、ニ、依、リ、以、テ、之、を、償、充、ス、ル、之、に、依、リ、

裏面白紙

一大正八年度警部補以下一人當平均月俸額調

大正八年十月一日現在
内務省警務局

府道廳及縣	警部	警部補	巡查長	巡查	警部補以下一人當平均月俸額
北海道	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
東北	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
東京	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
京都	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
大阪	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
神奈川	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
兵庫	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
長崎	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
新潟	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
埼玉	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
群馬	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
千葉	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
茨城	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
栃木	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
奈良	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三重	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
愛知	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
靜岡	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
山梨	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
滋賀	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
岐阜	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
長野	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
宮城	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
福島	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
岩手	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
青森	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
山形	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
秋田	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
福井	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
石川	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
富山	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
鳥取	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
島根	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
岡山	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
廣島	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
山口	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
和歌山	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
徳島	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
香川	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
愛媛	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
高知	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
福岡	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
大分	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
佐賀	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
熊本	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
宮崎	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
鹿児島	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
沖縄	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
合計	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00

備考
前年度比増額欄中「〇」印は、大正八年七月迄の増額を示す。他は、大正八年七月以後の増額を示す。
又印の付いた府縣は、前年度比増額欄中「〇」印は、大正八年七月迄の増額を示す。他は、大正八年七月以後の増額を示す。

特給與額調

大正八年十月一日現在
內務省警保局

精勤加俸

查	警	部	補	巡	查
	言			查	部
		長			
				巡	查

[illegible]

總領ヲ職別總人員ニ平均シタル額ノ回答ヒラミタルモノト認メタルヲ置ケリ

[illegible]

裏面白紙

大正六年度警部補以下精勤加給與額調

大正六年十月一日現在
内務省警保局

道廳及府縣	功 勞			精 勤	加 俸		
	警部補	巡查部長	巡查	警部補	巡查部長	巡查	査
北海道	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
東京	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
京都	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
大阪	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
神奈川	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
兵庫	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
長崎	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
新潟	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
埼玉	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
群馬	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
千葉	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
茨城	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
栃木	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
奈良	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
三重	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
愛知	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
静岡	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
山梨	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
滋賀	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
岐阜	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
長野	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
宮城	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
福島	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
岩手	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
青森	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
山形	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
秋田	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
福井	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
石川	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
富山	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
鳥取	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
島根	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
岡山	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
広島	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
山口	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
和歌山	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
徳島	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
香川	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
愛媛	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
高知	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
福岡	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
大分	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
佐賀	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
熊本	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
宮崎	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
鹿児島	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
沖縄	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇
合計	五〇〇	五〇〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	一〇〇

備考 廳府縣、回答額、相違セル分、不當給與額、職別總人員ニ乗算シテ、額、回答額、ラシタルモノ、認メタルヲ以テ、調査セルモノニ依リ記入シ置ケル

裏面白紙

大正八年十月一日現在
內務省警保局

	府道廳及 縣	警部補 巡查部長巡	科 查 警部補 巡查部長巡	非番勤務手當	訓練手當	當 査
北海	道	三〇〇	二六四	三〇	三〇	五〇〇
東京	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
京都	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
大阪	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
神奈川	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
兵庫	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
長崎	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
新潟	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
埼玉	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
群馬	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
千葉	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
茨城	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
栃木	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
奈良	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
三重	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
愛知	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
静岡	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
山梨	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
滋賀	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
岐阜	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
長野	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
富山	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
石川	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
福井	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
秋田	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
山形	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
青森	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
岩手	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
福島	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
宮城	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
廣島	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
山口	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
和歌山	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
徳島	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
香川	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
愛媛	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
高知	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
福岡	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
大分	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
佐賀	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
熊本	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
鹿兒島	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
沖縄	府	五五〇	四五〇	一〇〇	一一〇	五〇〇
合計		六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇

裏面白紙

四十六年度警部補以下臨時手當其他給與額調

大正十六年四月現在
内務省警務局

道府縣	府	道	廳	及	臨時手當	功勞加俸	精勤加俸	警部補	臨時手當	新設臨時手當
北海道					五五〇					
東京					五五〇					
京都					五五〇					
大阪					五五〇					
神奈川					五五〇					
兵庫					五五〇					
長崎					五五〇					
新潟					三五〇					
埼玉					三五〇					
群馬					四五〇					
千葉					四五〇					
茨城					四五〇					
栃木					四五〇					
奈良					四五〇					
三重					四五〇					
愛知					三五〇					
静岡					三五〇					
山梨					三五〇					
滋賀					四五〇					
岐阜					四五〇					
長野					四五〇					
宮城					三五〇					
福島					三五〇					
岩手					二五〇					
青森					二五〇					
山形					二五〇					
秋田					二五〇					
福井					二五〇					
石川					二五〇					
富山					二五〇					
島根					二五〇					
岡山					二五〇					
広島					二五〇					
山口					二五〇					
和歌山					二五〇					
徳島					二五〇					
愛媛					二五〇					
高知					二五〇					
福岡					二五〇					
大分					二五〇					
佐賀					二五〇					
熊本					二五〇					
宮崎					二五〇					
鹿児島					二五〇					
沖縄					二五〇					
合計										

臨時手當
功勞加俸
精勤加俸
警部補
臨時手當
新設臨時手當




















一、此の書は、御覧の如く、山梨民
 二、松平の書に、之を事とす。招
 三、りて、之を事とす。招
 四、根、事、之を事とす。招
 五、等、事、之を事とす。招
 六、認、事、之を事とす。招
 七、此、事、之を事とす。招
 八、月、事、之を事とす。招
 九、多、事、之を事とす。招
 一〇、下、事、之を事とす。招
 一一、根、事、之を事とす。招
 一二、採、事、之を事とす。招

此の書は、御覧の如く、山梨民
 松平の書に、之を事とす。招

葡萄、好し人好む用、途々塞々具下
 條、生活は憚り、此へて田中家共
 部下、如き所氏、瞞着、刺、五、
 下、僚、議、性、此、切、止、怒、
 物、之、等、不、疾、云、其、各、
 然、之、の、ナ、ヤ、仍、吾、石、夫、
 一の、キ、天、長、佳、晨、ト、
 有、ラ、貫、徹、不、林、事、
 星、々、下、共、部、彈、初、
 共、或、社、多、
 如何、上、司、人、令、
 阻、ム、寺、ノ、ト、
 同、僚、ノ、
 一、力、
 勇、性、
 暮、進、
 綾、

男子の氣骨を養ふには

[illegible]

読所、通、事、此、子、年、取、書、用、
 却、勤、物、事、半、之、所、結、再、
 夜、方、因、情、所、底、勤、好、足、金、
 又、現、採、採、事、及、ト、多、根、聘、先、正、
 代、同、中、即、長、一、朋、友、之、
 下、之、少、修、老、候、の、飼、こ、
 ト、禁、米、の、飯、料、一、其、人、
 三、勤、役、力、の、時、所、休、息、
 現在、交、入、の、刻、板、
 七、午、の、過、り、金、
 如、此、の、
 三、勤、役、力、の、時、所、休、息、
 現在、交、入、の、刻、板、
 七、午、の、過、り、金、
 如、此、の、

二十四時、
 三、勤、役、力、の、時、所、休、息、
 現在、交、入、の、刻、板、
 七、午、の、過、り、金、
 如、此、の、

儀、性、古、三、四、
 儀、性、古、三、四、

何、
 何、

大正八年十月十五日

十月十五日

警務課長
警保局長

大坂府知事宛 宛里會案

年月日 警保局長

新聞記事の関する件 宛

十月十五日 発行 山梨民報 第七十八頁 三編
二 巡査増設大匡助ト 題シ 著者 山梨民報 宛
二 在勤者 二十名ノ 委付リ 署々ト 東ノ 三十一日ノ

(大衆日報)

無「ヶ月會を導流四金五十三圓、石の三人が何かヒョクで相談中
月詞金一圓十錢六分、六月三十一日、
週七十五圓一年間金五圓五錢」であるのを聴か
廣吉同五錢、五十文、奇一行符「あらッ」と叫んで其處へ
通五十錢特別間一行一圓

甲府市御土二番道
發行所 山崎氏 電話一八六番
電話一八六番、さ云つて居たが、矢ツ那リ泣
奥星四〇七八三番、きを入れに來たな」
發行家編輯人宮川友吉
印刷人丸山友吉

斯う思つたが、彼は些か腑に落
出來る役者では無い。
「あゝ左様ですか、木

「私がつたのは、本水
して大村さんに申し入
あるからでござい
斯う云つて佐藤の顔
田は到底佐藤さんの
出来る役者ではない。

其向答を察して居た
「私がつたのは、本水
して大村さんに申し入
あるからでござい
斯う云つて佐藤の顔
田は到底佐藤さんの
出来る役者ではない。

澤田は佐藤の背後へ入る。發音子と連れ立つ離れた。

廣 告

開業廣告

數ノ倉庫業 金銀貨
商品委託販賣 仲立
毎月一回購買會開催
中央總店山崎町〇七番
鹽山信託株式
電話

病で御困難の方は當醫主
正き新全藥あり病人救
け方で則貴詳細報 出

ぜんく



九十九歳の大老翁... 大坂... 高松...

来る十六日より機山館へ来れ... 酒又醬油醸造店譲受タシ... 姓名在社

諸物價ハ暴騰シマシタガ... 純金ハ幾十年前ト變リマセン... 廣瀬商店

天候豫報 (十五日) 晴一時曇... 販賣係を募集す... 手當一ヶ月金十圓歩

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

金張眼鏡特賣價出... 市制祭ヲ祝シ... 角ノ四町柳市府甲

百七十二席

寶井馬琴

傳吉呼ばる

時でもお渡し申しますからアハ、待たして寄越して呉れよのこと
六「オヤ、己れ夫婦や横合だ賃るかな、アハ折角ですがお
から取つたのは傳吉が傳「ヘエ傳斷りをいたします、私はモウあん
吉でございます 六「ツレ彼奴を道な品の一つや二つは賣りたくはご
ひ願ける。」「案細心得ましてござ
る」バラ／＼／＼ツミ追ひかける
奴、傳吉はドン／＼近江屋の家へ
立歸つて参りました傳「ヘイ旦那唯
今、一筆「ヤ、傳吉が、大層恩を
切つてさうした、傳御覽下さい、香
爐は此通り持つて参りました 筆「
能く取返して來たな、向ふで渡し
たのか。」「さういたしまして、渡
す處ではございせん、是れく
／＼旦那が諦めろさ仰しやつたが
私には諦められない、念が叫つて
漸く取戻して参りました 筆「ツム参ります、ヘエ役人様へ、面々
一問抜けた奴だな、さうか、しか掉塗をいたしますから……」とい
し黙つて來たらうな。」「餘り可笑
いから大きな聲で笑つて來てやりて即座に二つはあるものか、モシ
ました 筆「それは不可ない、アハ 無法なことをすれば自分も内々學
習い香にも困つたものだ、檀手がんだ劍術は中詣しが得である、一
代官であるに由つて何か祟りがな 澤藏つて歸つて來やうさいふ量
ければ好いが……」有繁は老幼の 見てございます、然し何と云つて
近江屋五郎、早くも腹で考へても近江屋は行くことを許さなかつ
した、此方は六郎次、壽に油揚げをた。

第八月廿三日
 本局湯鳴謝助

▲一白の人徒方に屬し易く日吉
 掛合出漁何れも尙合すべし東方
 ▲二黒の人福徳の舞ひ込む日吉
 は横な柱立て船難何れも吉長日
 ▲三碧の人不圖引つ込み思案を
 日吉取の氣を盡ふ要あり戌
 ▲四緑の人他人の爲に奔走し内
 急になり勝らぬ日御注彦成を
 ▲五黄の人進退難に至便の位置
 ある日談何利吉長は注意すべ
 ▲六白の人進み過ぐれば綿子に
 れることあり常業を守り居が安
 ▲七赤の人誇りがちにて進退其
 拂取らざる日物乞願あり吉長
 ▲八白の人理恵通り物事の進
 入樂問店並に旅行名弘の何れも
 ▲九紫の人の離れ物出すべき
 日進むに宜しからず御注意甚

A vintage Japanese advertisement for 'Kohjiya' (吉字屋). The left side features a large, stylized illustration of a tree with star-shaped leaves. The right side features a large, stylized character '御' (Go) with a small '貴' (Ki) below it, forming '御貴' (Go-Ki). The central text is in vertical columns. The top line reads '御履物ハ吉字屋' (Go-ryakumono wa Kijijya). Below it, '是非御用命ヲ' (Shiwa Go-ryōmei o). Then '甲府市魚町 吉字屋履物店' (Kofu-shi Utsunomichi Kijijya Ryakumonten). At the bottom, '電話四〇六番' (Densha Yonjūroku-ban). The bottom left has a large '本' (Hon) character. The bottom right has a large '紅' (Ben) character. The central text block reads '紅薬' (Ben-yaku) and 'の日ヤケを防' (no hi yake o fushime) and '必ず忘れてなら' (kanjōki o wasurete naranai) and '唯一度平' (totsuzen). The bottom left text reads '全國到處の信用ある' (kokuoku toku toku no shiyōgō aru) and '化粧品店薬店にあり若し品切れ' (kōshijūten yakuten ni ari shoshihinagire) and 'の時は直接本舗へ御注文あれ' (no toki wa chokusei honpo e gochūmon are) and '願ひ三十三錢送料内地六錢' (ganbi sanjūsanzen sōryō uchikoku rokugan).

お美しくてお上品なこと じやうひん

元寶發粉白園餅料師 舖木粉白園餅料師
店商屋兒丸 園蝶胡東伊

本院は主として
左記疾患の治療
に従事せん事を
期待す

脚膝腫痛、骨節痛、其
他の外科的疾患及熱
性の産婦人科、原生
殖器皮膚の疾患

院長醫學博士佐々木次郎三郎
副院長醫學士林光遠

駿東病院

静岡縣沼津市 電話 三三三三

の日ヤケを防ぎ、お顔を美しく保つに
必ず忘れてならない化粧料は

唯一度でキツト色白く蒼返へる

他に類のない
紳士淑女専用

全國到處の信用ある
化粧品店藥店にあり若し品切れ
の時は直接本舗へ御注文あれ定
價、三十錢送料内地六錢

底底から色を白く艶を増す
 秋の風々々肌アレを絶好に防ぎ
 鼻を高く頬を豊に見せる
 メを細かに皮肉を滑かに軟にし
 芳香散佈さして身心を爽快にし
 化粧に青光り又は底黒くなし
 如何なる零細にも化粧崩れせず
 化粧後は上品にして頗る高尚なり
 洗落した後迄もほんのり色白く
 小皺を伸ばし確にお年を若く見せ
 子供の皮肉を丈夫にし強固し
 お顔ソリ後に用ゐて最も妙なり

東原神田御堂橋
本城越嘉太郎商店
水一カ一白粉液
水一カ一白粉液
水一カ一白粉液
水一カ一白粉液
水一カ一白粉液
電話神田區三丁目一五十六番
振替東京



るなと白色んらごを鏡ラタケツ日七

液 / 分

小樽二十號 徳用四十號 全國の藥店
小問物化粧品品店雜貨店にあり
所に品物のは給は振替又は切手代
割送付あれば贈品 送料内地八錢
海外二十號
東京神田區東橋藤澤ゲンソ石橋本橋
松本駒込和樂商店 電話下番五四八六
郵便東京一七九〇七

[illegible]